



駒留中だより



響きの学び舎

世田谷区立駒留中学校 校長 加瀬 康夫

世田谷区下馬 4-18-1 Tel.3424-3070

きくねわ

菊根分け、あとは自分の土で咲け (吉川 英治：小説家)

この言葉は吉川 英治さんという歴史小説・時代小説の小説家(『三国志』『宮本武蔵』などが著作)が、知り合いの娘さんの結婚の際にはなむけの言葉として送った言葉だそうです。

生徒の皆さんの中には菊を育てた経験のある人はあまりいないかもしれませんが、家族や近隣には菊を育てている人も多くいるのではないのでしょうか。日本では、春の桜、秋の菊、どちらも「国花」とされるぐらい長きにわたり愛されている花です。菊を育てるにはとても手間がかかります。肥料などを配合した土を用意してプランターや鉢に苗を植えて、水をやり、日当たりの影響を受けやすいので気を配りながら育てます。葉が茂り茎が成長してくると支柱を添えたり覆いをかぶせたり、場合によっては余分なつぼみを摘み取ったりなど様々な手をかけて、きれいな花を咲かせることができます。そして、花の盛りが過ぎると来年に向けた手入れを行います。菊の株が大きく育っているので「根分け」(株分けともいう)という、土から出していくつかの小さなまとまりに分けそれぞれ鉢などを変えて肥料を与えたりすることで、根元の風通しもよくなり、来年に次の世代の花を咲かせることができます。吉川 英治さんは、「生まれ育った家を離れて、今度は自分で新しい家庭を築いていってください。」ということに菊に例えてこの言葉を送られました。その後この言葉は、多くの人に、特に学校などで新たな道へと進む生徒に向けたはなむけの言葉として多く引用されているのです。

まもなく令和5年度の教育活動も終わりを迎えます。3年生の皆さんは、もう間もなく9年間の義務教育を終えて、自分で考え切り開いた新たな進路に進んでいきます。1、2年生の皆さんも学年が上がり、今まで以上に自分の将来や進路について考えていかなければならなくなります。そんな節目を迎える皆さんに対して、(特に3年生に対して)この言葉を紹介したくて、この学校だよりを今書いています。

皆さんは今までに様々な経験をして成長してきました。今まで成長することができたのは、もちろん皆さんの努力の成果ですが、家族をはじめ多くの方々力をかりて、支えられていたからです。例えるなら、みなさんは駒留中学校という一つの株(集団)の中で成長してきました。

私は、皆さんに「凡事徹底」を心がけてもらいたいと、毎年生徒に話をしています。「小さな当たり前の積み重ねが大きな結果に」つながることを意識して、日々の生活を送ってもらいたいと思っています。皆さんもいろいろな小さな「当たり前」のことを「当たり前」に行うことを意識してくれていると思いますが、このように皆さんが「当たり前」にできることでも、振り返ってみれば当たり前のように育てられて(学んで)ここまでできたのです。「挨拶は大事」という話も今までにしたことがあります。それは「おはようございます。」「こんにちは。」といった言葉や態度などを皆さんが学び、身に付けているからこそ「当たり前」なことになっています。他にもいろいろな「当たり前」が皆さんに身に付くように家族、地域、学校で育てられています。

しかし3年生は、まもなく駒留中学校という株から、それぞれ「根分け」をされます。いつまでも人頼み、人任せでは立ちができません。今まで成長できた(花を咲かすことのできた)経験を生かして、今度は自分を信じて自分だけの花を見事に咲かせてください。自分の求める方向は人それぞれで、誰一人として同じ道を歩んでいくわけではありません。皆さんは9年間の義務教育で自分で道を選んで進んでいく精神力と多少の無理にも負けない体力と人として正しく実行する心を培ってきました。「あとは自分の土で咲け」です。自分にしか咲かせられない花を見事に咲かせてください。

そして、吉川英治さんが詠んだ句をもう一つ紹介します。

「菊作り 菊見る時は 陰の人」

これは、吉川さんが菊人形展を見学した際に見かけた職人さんのことを詠んだ句です。自分で作った菊人形が絶賛されているときに、その作者は陰でひそかに自分の作品がほめられている様子を見ていた、というものです。この職人さんはその時、どんな気持ちでその場にいたのでしょうか。皆さんにも成長を支えてくれた人、陰から見守ってくれている人がいるはず。感謝の気持ちを忘れないでいてほしいと思います。

響きの学び舎（合唱交流）

響きの学び舎の、取り組みの一つの小中合唱交流ですが、今年度は3年生全員で、中丸小（3/8）、旭小（3/11）、駒繫小（3/12）に訪問して合唱交流を実施しました。（感染症拡大防止対策のため3年ほど実施することができず、昨年度より復活しましたが訪問する中学3年生の人数も、小学生の人数も制限をしての実施でした。）

響きの学び舎の目標の中に「合唱を通して豊かな表現力を養う。」とあります。今回の歌声は、小学生、小学校の先生方に対して、思いのこもった表現力で訴えかける力のあるものとなっていました。今回の交流を経験した小学生が数年後に中学生として成長した姿を見せることができる、そんな取り組みにしていきたいと思えます。



中丸小学校(3/8)



旭小学校(3/11)



駒繫小学校(3/12)



校外学習（3学年：3月5日（火） 2学年：3月7日（木））

3学年：八景島シーパラダイス

残り少ない中学校生活の中での思い出つくりの機会として実施いたしました。学芸大学駅で出欠確認後、現地までは班行動となりました。電車の乗り間違え等をしてしまった班もありましたが水族館の見学や様々なアトラクションで楽しむことができました。



* 2学年：横浜班行動

* 天気にも恵まれ横浜へ校外学習に行きました。事前学習を行い、見学場所を調べ、班別行動で実施しました。今回の校外学習は来年度行う修学旅行に繋がる活動です。見通しをもって自分たちで考え、協力したり軌道修正したりしながら班行動を迫するという目的の通り、すべて予定通りとはいかなくても、問題に対して自分たちで考え、対処するという学びの機会となりました。



百人一首大会

3月2日（土）に世田谷区立中学校百人一首大会が教育総合センターにて行われました。各中学校より代表者2名（駒留中代表）がチームとなり、22チームによる対抗戦でした。

予選は4チームを1ブロックとしたブロック戦を行い、各ブロック1位のチームによる決勝トーナメント戦を行いました。駒留中学校はトーナメント戦には出場できませんでしたが、とても頑張っていました。



人格の完成を目指して（3月） 学校独自目標：絆

新しい年度に向けて、この一年間のまとめをしよう。
行事の中で深まっていった絆を大切に、クラスメイトとの絆をさらに深めよう。
進学・進級に向けて、今までの自分を振り返り、前向きに準備を進めよう。
夢の実現に向けて、もう一段高い目標を考えよう。『新しい自分』の実現に向けて大きくジャンプ！！

